

渡部大輔選手の「大宮アルディージャレリーフ」

アルディージャ後援会も協賛する「大宮アルディージャレリーフ」が3月8日(日)の開幕戦当日、高島屋大宮店前でお披露目となりました。

今年は、埼玉県出身で、Jr.ユース1期生として、ユースを経てトップチームに加入し、2014シーズンは選手会長としてもチームを支えた渡部大輔選手(13/DF)のレリーフが設置されました。

当日は、あいにくの天気でしたが、多くの皆さんがお集まりになり、盛大に開催されました。お披露目に併せて記念クリアファイルの配布もあり、スペシャルゲストのミーヤも参加し、会場である高島屋大宮店前は、笑顔あふれる場となりました。

会員の皆様もNACK5スタジアム大宮へ向かう際、また近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。



ミーヤと高島屋のみなさん



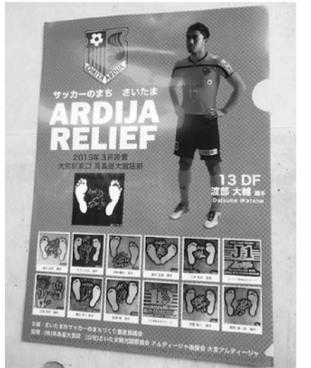
ミーヤとファイルとレリーフ



ミーヤと記念撮影



渡部大輔選手のフットレリーフ



レリーフクリアファイル



「チャンス」

アルディージャ後援会常任理事(初代理事長)

松沢 喜久夫

1996年J1リーグ2部制構想に伴い、地元有志により埼玉県で2番目のプロサッカーチームを誕生させる活動が始まりました。サッカー王国埼玉としては当然のことであったと思います。多くの方々の協力と支援のおかげで、1999年、ホームタウンとして旧大宮市への受け入れ態勢が整い、NACK5関東サッカー部のプロ化・J2リーグへの参加が実現しました。そして1998年11月、招致活動・支援する会が母体となりアルディージャ後援会(以下、後援会)が設立されました(後援会会報誌2010 WINTER 参照)。

後援会は、大宮アルディージャをこの地に浸透させ、さらに多くの方々に応援・支援していただくために、活動を続けてまいりました。ホームゲームでの運営サポートやグッズ販売、また、チームと自治体・地元商店街・企業をつなげる橋渡しといった、大宮アルディージャがこの地域に愛される存在となるための活動をしてまいりました。

そして2004年11月、J2リーグ6年目のシーズンで2位となり、待ち焦がれていたJ1への昇格を決めました。大きな期待と喜

びに満ちあふれ、この地域を元気づけ、大宮への愛着を再確認することにつながったことは言うまでもありません。それまで、クラブスタッフとともに街に出て応援・支援の働きかけを継続的に行ってきたことで、大宮アルディージャの地域活動が定着し、さらに街中でも上位への期待が高まりました。その後もJ1での厳しい戦いが続きましたが、観客も増えスタジアムの改修などもあり、見違えるスタジアム風景となってきました。

しかし、昨シーズンは善戦していたものの期待に応えられずJ2降格となり、大宮にとって新たな試練のシーズンとなりました。大宮アルディージャは創設20年に満たない若いクラブですが、今まさにその真価を発揮する時であり、目指している未来を見失っていないことを信じています。アルディージャ後援会は、大宮アルディージャが地域に愛され夢を分かち合える未来のために、よりよい地域社会の実現に貢献する活動を共にすすめていきます。そして、今年の目標はJ2リーグ優勝。J1昇格を勝ち取るために一丸となり戦っていきます。

応援・支援

第9回埼玉県第4種新人戦中央大会
大宮アルディージャジュニアチーム優勝
(5年ぶり3回目)



第9回埼玉県第4種新人戦中央大会で5年ぶりに3回目の優勝をすることができました。大宮アルディージャジュニアに関わる全ての皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。今後も様々な大会がありますが、一戦一戦、オレンジ魂を胸に精一杯頑張りたいと思います。



ドカンをもつ
大和田運営委員長

ホームゲームで勝利した時の応援企画として、選手がサポーターに向けて打ち上げるドカン(祝砲)の維持管理をしています。応援の楽しみと選手への後押しとなるように支援を継続していきます。

祝 金澤選手Jリーグ通算300試合出場



開幕戦キックオフ前には、Jリーグ通算300試合出場を祝い、金澤選手に後援会より花束の贈呈をいたしました。

2015明治安田生命J2リーグ開幕!

J2開幕にあわせて、対戦相手のチーム名看板を作成しました。次節ホームの試合告知として、大宮駅東口駅前花壇内にプレートを表示してありますので、ぜひ、ご覧下さい。

なお、すずらん通り入口では、おもてなしとして、対戦相手チームの歓迎横断幕を掲げていますので、あわせてご覧下さい。



花壇告知看板



ホームゲームに合わせて掲出している歓迎横断幕